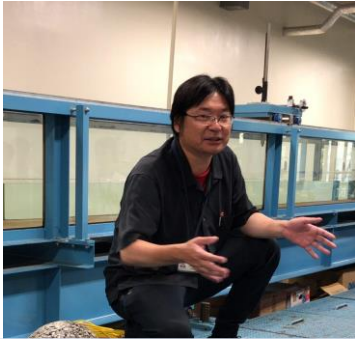


# 研究室訪問交流講座①

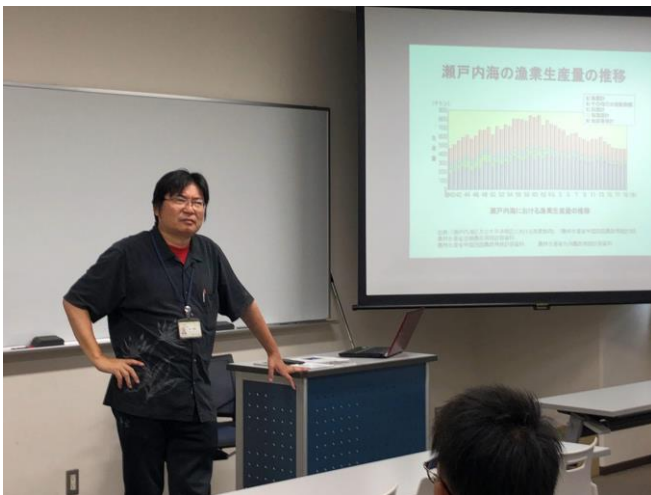
## 開催しました！



- 日時 令和元年8月23日（金）13：00～16：00
- 会場 香川大学創造工学部 林町キャンパス
- 講師 香川大学創造工学部 教授 末永 慶寛 氏

8月23日（金）、香川大学創造工学部にて、研究室訪問交流講座①を開催しました。

本講座は「里海」にかかわる研究を通し、実際に大学の研究室でどのような研究が行われ、どのように社会に役立てられているのかを学び、現役大学生と現役高校生の交流の場を設けることにより、大学での研究を身近に感じ、里海づくりに関心を持ってもらう目的で行われました。



初めに、講師の末永先生が「人工漁礁」開発に取り組むことになった経緯と、古くは魚のすみかとしてただ岩を海へ沈めることから始まった人工漁礁の歴史についてお話がありました。

各海域に適した人工漁礁の形状を把握するため、検証と実証を重ね、日々が「挑戦と防衛」の繰り返しであるとの熱い思いをお話いただきました。末永先生が開発した「人工漁礁」は全国各地に埋設され、豊かな海環境づくりに役立っています。

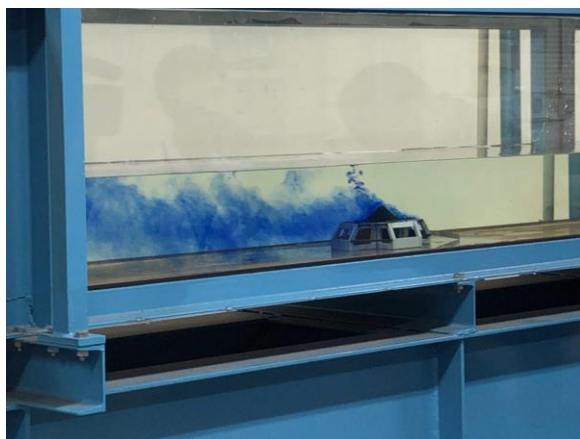
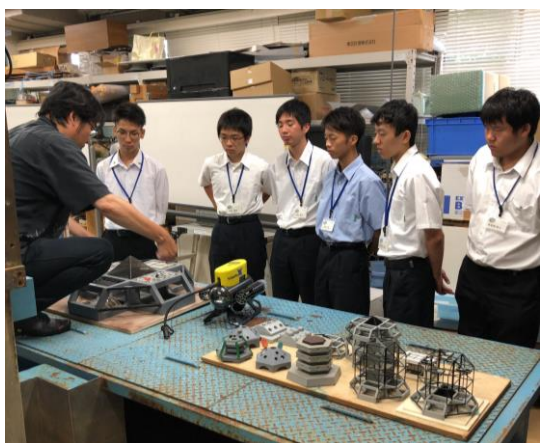
座学の後、実験室へ移動しました。

実験室には様々な形の人工漁礁の模型があり、埋設した際に漁礁の表面で成長した海藻（昆布等）を痛めることなく別の埋設物に移設できる人工漁礁など、様々なアイデアによって人工漁礁が作られている事を解説いただきました。

水中に人工漁礁を埋設した際の様子を再現できる大型の実験装置を用いて、人工漁礁による水流の変化を観察しました。



※潮流の流れを再現する大型の実験装置



※水流が人工漁礁にぶつかった際、どのような水流の変化が生まれるのかを、水と同じ比重の青い染料で確認の様子



実験室での実習の後は、現役大学生との交流会が行われました。

高校生たちは、サークルやバイトについての素朴な疑問や、就職に関する質問など、貴重な機会を生かすために積極的に質問していました。

受講者からは「この講座を聞き、今まであまり興味がなかった範囲だったことにも興味がわきはじめました。」、「研究の成果が出ていることがすごいと思った。」等の感想がありました。